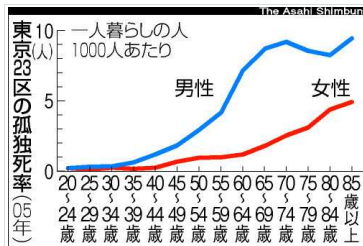


孤族の国

孤独死、40代から高リスク 東京都監察医務院調査

2010年12月26日18時35分

ソーシャルブックマーク 印刷



拡大

孤独死や自殺の発生状況を東京都監察医務院が分析したところ、40代後半から60代の単身男性がとりわけ高いリスクを抱えているという結果が出た。単身者の健康状態が悪化しやすいことは海外の研究では指摘されているが、国内で同様のデータを取っている自治体はほかになく、大都市圏の傾向を示す初の分析として注目される。

生涯未婚率は全国的に上昇を続けており、今後、この年代の単身男性は急増すると予測される。孤独死対策は65歳以上の高齢者を対象に検討されることが多いが、単身男性についてはより若い世代への目配りが課題と言えそうだ。

東京23区内の死亡例について、金涌(かなわく)佳雅医師が中心となって分析した。孤独死には明確な定義がないため、「自殺や事故死、死因がはっきりしないケースのうち、自宅で死亡した一人暮らしの人」を対象とした。

金涌医師らによると、孤独死は年々増え、1987年の男性788人、女性335人から、06年には男性2362人、女性1033人になった。平均すると23区で毎日約10人が孤独死していることになる。

同じ孤独死でも男女の発生年代は明らかに異なる。女性は65歳を過ぎてから件数が増え始め、80代前半が最多。これに対し、男性は50代前半から急増し、率でみると70代前半にピークとなる。亡くなってから発見までの日数も男女で差があり、06年の場合は男性が平均して12.01日と、女性の平均6.53日の約2倍だった。また、男性の孤独死は、完全失業率が高い区や生活保護率が高い区で起きやすかったが、女性の場合はこのような相関関係がなかった。

自殺については、05年の1554人を性別と「一人暮らしだったかどうか」で4グループに分けたところ、単身男性の自殺率が最も高く、特に40代後半から60代にかけて顕著だった。

国勢調査によって単数・複数世帯の人口が算出できる05年の場合、単身男性の自殺率は10万人あたり46.60人と世帯を持つ男性(19.46人)の倍以上だった。年代別にみると、40代後半から「10万人あたり60人」を超え、60代後半までこの高いレベルが続く。同じような傾向は90年、95年、00年にもみられた。

金涌医師は「40代から60代の単身男性に健康問題が表れる傾向が共通している」とし、この層を対象に調査を進めたり、対策を取ったりする必要があると指摘。「リスクを把握するためには東京23区以外に住んでいた人や、病院など自宅以外の場所で亡くなった人も対象に分析すべきだが、日本ではそのような統計がなく、把握が困難だ」と話している。(中井大助)

[アサヒコムトップへ](#) | [ニューストップへ](#)

[購読申し込みへ](#) [試読申し込みへ](#)

新刊購読のご案内 朝日新聞 会社案内・事業紹介



どらく



堺雅人さんとラブシーンで...
堺雅人さんは菅野美穂さんをすごく色香のある人と思っているが...との質問に菅野さんの答えは...

動画

[動画付き記事一覧](#) | [動画ページ](#)



注目コンテンツ

[今日の新着一覧](#)

- 全国学力調査の学校別成績「市長には伝えない」なぜ起きた? どう防ぐ、アレルギーによる事故
- 次期日銀総裁は誰? 安倍新政権の試金石
- 「火星の土地の権利書」って見たことありますか? 体重を減らすには、ダイエットは全く役に立ちません

楽天 × 朝日新聞 DIGITAL

楽天スーパーポイントコース

楽天会員の方限定!
朝日新聞デジタル 月々3,800円(税込)を、13カ月間(初月無料)のご購読で

楽天スーパーポイント
5,000 ポイント
進呈

朝日新聞デジタル **地域情報**

朝日新聞社インフォメーション

- | | |
|---------------|------------|
| 採用情報 | 教育関連・NIE |
| 記事や写真利用案内 | 写真の購入案内 |
| asahi.com利用案内 | デジタルサービス一覧 |
| kotobank 用語解説 | 朝日新聞出版の本 |

[PR] 比べてお得!

- [プロバイダー比較はこちら](#)
- [引越し見積もりはこちら](#)

単身世帯の急増と同時に、日本は超高齢化と多死の時代を迎えます。「孤族」の迷宮から抜け出す